

学校適正規模・適正配置に関する
基本計画の公表に向けた教育長の考えは？



佐々木 充 議員
西条自民クラブ



問

西条市学校適正規模・適正配置等審議会からの答申書に、早期に策定すべきと示された基本計画について、基本計画案を作成済みと聞くが、なぜ公表しないのか。また、パブリックコメントも実施されていないが、今後、実施する考えはあるのか。

答

基本計画案は、令和6年度末に作成しているが、共通ルールや検討手順などを整理する必要がある。現時点では公表に至っていない。今後整理し、教育委員会及び関係部局との協議を経て、公表を目指したい。

また、パブリックコメントについては、市の基本政策などの策定に当たり、市民の皆様の意見を広く募る重要なしくみであるため、不信や誤解を招くことのないよう努めた上で、地域ごとの計画案を公表する際には実施し、幅広く意見を伺うこととしたい。

広島大学との連携協定の締結
狙いや目標は？



伊藤 良二 議員
西条自民クラブ



問

本年10月に広島大学と半導体分野のグローバル人材育成等に関する連携協定を締結したが、協定の狙いや目標は何か。

答

現在、広島大学は半導体分野における西日本随一の拠点として、人材育成や研究開発において世界と地域を結ぶ役割を果たしている。

社会のデジタル化、技術革新が進む中、半導体の市場規模は今後も持続的に成長することが見込まれる一方、市場の成長に伴い、専門人材の不足がますます深刻化することが予想されている。今回の協定締結を通じ、市内の半導体関連企業との共同研究やインターンシップの実施を促進することで、企業の競争力強化や人材確保につなげるとともに、新たな設備投資や企業誘致における本市の優位性を示すアピールポイントとしたい。

災害対応に従事する職員のため
備蓄物資の推進を！



柳原 政彦 議員
西条自民クラブ



問

本市の業務継続計画では、職員用の食料・飲料水ほか必要備品について必要量の備蓄に努めるとの記述はあるが、計画的な備蓄ができていない状況にある。大規模災害時は、長期にわたる被災者支援の取組が必要となることから、災害対応職員の食料・飲料水の確保は必須であり、計画を立てた上で目標に向けて備蓄することが重要であると考えるが、今後、どのように取り組むのか。

答

平素から市民に備蓄物資の準備を呼びかけていること及び西条市災害時職員行動マニュアルを踏まえ、職員に対して自宅での備蓄のほか、災害対応に従事する際の携行品の準備も心がけるよう促すとともに、他自治体の好事例などを参考にし、職員用の備蓄の在り方などの調査・研究に努め、必要に応じて段階的に備蓄にも取り組むたい。